

モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査説明書

ガンカモ類調査の目的

モニタリングサイト 1000 ガンカモ類調査は、長期的な定点調査を通して次のようなことをモニタリングします。

(1) サイトの最大個体数

各サイトに飛来するガンカモ類の最大個体数を調べます。

(2) 季節変化

ガンカモ類の個体数が季節によってどのように変化するかを調べます。年3回の調査では把握が難しい場合もありますが、モニタリングサイト 1000 以外の調査結果も使って、総合的に分析していきます。

(3) 気候との関係

一部のサイトには自動的に気温を記録する装置を設置していただいています。この気温計の記録や気象庁の気候記録などを使って、気候とガンカモ類との関係を調べます。

調査方法

1. 個体数調査

渡り時期と越冬期に個体数をカウントします。調査対象はガン、ハクチョウ、カモ、カイツブリ、バンの仲間です。湖沼が広くて全数をカウントするのが難しい場所では、湖沼内の一部地域を調査サイトにしても構いません。また個体数が多すぎて数え切れない場合は、概数で数えても構いません。

秋期（9～11月）、冬期（12～翌年1月）、春期（2～5月）に、各1回以上のカウント調査を行って下さい。

	冬季に対象種が少なくなるサイト	冬季に対象種の数が増えるサイト
冬	凍結すると調査できませんが、凍結したことを調査用紙に記入して下さい	個体数が安定する12～1月
春・秋	渡り時期の個体数がピークになる時期	毎年同じ時期になるように調査日を設定

カウント調査が難しい場合の対応方法(事前に事務局にご相談下さい)

カモ類が多すぎる場合

- 種ごとに概数を数える
- カモ類の総数を概数で数える
- 湖沼の一部を調査区域にする(いつも同じ場所に対象種が生息し、湖沼内の移動によって数が増えないことが条件です)

遠くて識別できない場合

1. 岸に近いものだけ数える

2. ハクチョウの幼鳥比率

オオハクチョウとコハクチョウの成鳥と幼鳥の個体数を1回以上カウントして下さい。1回だけ調査を行うサイトでは、1月に調査を行って下さい。

成鳥幼鳥比はサンプル調査で結構です。遠くて識別が難しいものまで数える必要はありませんので、確実に識別できた成鳥と幼鳥の数をご報告下さい。

3. 写真撮影

ガンカモ類に影響があると思われる工事や開発などがあれば、写真をお送り下さい。

4. データの帰属

調査記録はその調査者・団体に帰属します。環境省はモニタリングサイト 1000 やその他の自然環境保全施策のためにデータを使用させていただきます。

5. 安全のために

冬の調査には危険もありますので、安全に気をつけて調査を行ってください。